

# かながわあんしん生活支援フォーラム in 川崎

～ 地域のささえあいで ハッピーエイジング ～

日時: **2月24日(金)** 14:00～16:40  
(開場 13:30)

会場: **ラゾーナ川崎プラザソル ホール**

( JR川崎駅改札より、ホール入口まで徒歩5分 )

定員: **先着 200名 (当日受付)**

※定員に達した場合、ご入場いただけません  
ので、予めご了承ください。

**入場無料**

**手話通訳・要約筆記あり**

プロスキーヤー・冒険家

**三浦 豪太 氏**



## ○ プログラム ○

— 14時 開演 —

### 第1部【認知症について】

講師 **認知症サポーター養成講座**

**鈴木雅子 氏・根本たつ子 氏**

( 川崎市認知症ネットワーク副代表・書記 )

— 休憩 —

### 第2部【基調講演】

“地域のささえあいで ハッピーエイジング”

**三浦 豪太 氏** ( プロスキーヤー・冒険家 )

### 第3部【座談会】

コーディネーター  
**遠藤 慶子 氏** ( 田園調布学園大学 人間福祉学部 社会福祉学科 准教授 )

対談者  
**三浦 豪太 氏** ( プロスキーヤー・冒険家 )

対談者  
**鈴木雅子 氏・根本たつ子 氏**  
( 川崎市認知症ネットワーク副代表・書記 )



※会場へは、公共交通機関でお越しください

会場: **ラゾーナ川崎プラザソル**

川崎市幸区堀川町72-1

ラゾーナ川崎プラザ5F

JR川崎駅改札より、

ホール入口まで徒歩5分



主催: 神奈川県 (平成23年度 神奈川県 認知症サポーター養成促進事業)

(平成23年度 神奈川県立 平塚ろう学校 地域活性化コミュニケーション推進事業)

共催: 川崎市

後援: 公益社団法人 認知症の人と家族の会 神奈川県支部  
特定非営利活動法人 神奈川県介護支援専門員協会  
ライオンズクラブ国際協会 330-B 地区  
毎日新聞社横浜支局

協賛: エーザイ株式会社 / ファイザー株式会社



認知症サポーター100万人キャラバン

お問い合わせ:

平成23年度 神奈川県 認知症サポーター養成促進事業 運営事務局  
(株)コモンズ 21 研究所 TEL 045(752)0211 FAX 045(752)0242

## かながわあんしん生活支援フォーラム in 川崎 出演者プロフィール

### ●**基調講演講師：三浦 豪太 氏**（プロスキーヤー・冒険家）

昭和44年神奈川県生まれ。三浦雄一郎氏の次男として小学校時代から海外遠征に同行。アフリカ大陸最高峰キリマンジャロ（5,895m）を11歳で登頂。最年少記録を持つ。平成3年よりフリースタイルスキー、モーグル競技を始め、以来10年にわたり国際大会で活躍し、リレハンメル及び長野オリンピックに出場。日本モーグル界の牽引的存在となる。平成13年に米国ユタ大学スポーツ生理学部を卒業。平成15年、父・三浦雄一郎氏とともにエベレスト（8,848m）に遠征し、日本人初の親子同時登頂の記録を達成。

現在は順天堂大学大学院 医学研究科 博士課程に在学中。専攻は加齢制御医学（アンチエイジング）。また、子どもから高齢者までの幅広い年齢層や、アスリート向けのトレーニング及びアウトドアプログラムを国内外で数多く手がけている。

一般社団法人アンチエイジングリーダー養成機構専務理事、株式会社ミウラ・ドルフィンズ 低酸素室トレーニングシステム研究開発所 所長。

### ●**コーディネーター：遠藤 慶子 氏**（田園調布学園大学 人間福祉学部 社会福祉学科 准教授）

慶応義塾大学卒。昭和62年より、高津区で在宅医療・福祉現場に携わるようになる。平成5年より高津区在宅介護者の会の副代表となり現在に至る。介護現場で放置されがちだった口腔の問題をケアマネジメントの中に入れることを趣旨として、平成9年に「口腔介護とケアマネジメント研究会」を立ち上げて代表を務める。

介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員・認知症ケア専門士・アンチエイジング専門士等の資格を活かし、平成13年より在宅高齢福祉分野を専門とし、田園調布学園大学で介護福祉士・社会福祉士等の育成にあたっている。

現在、川崎市高齢者保健福祉計画策定委員。また現在、食育ガイドブック（内閣府）作成のためのワーキンググループに参画し、高齢者の食事に関する問題にも取り組んでいる。

### ●**対談者：鈴木 雅子 氏**（川崎市認知症ネットワーク 副代表）

平成3年から義母の介護に関わり、平成15年に看取る。

平成6年に、認知症家族会「宮前すみれの会」に保健師のすすめで参加し、現在、同会代表を務める。

平成8年に、「宮前すみれの会」として「川崎市認知症ネットワーク」に賛同して参加し、現副代表。現在、同ネットワークの活動として、認知症の人も家族も、一人の人間として、社会人として共に暮らす社会を目指し、川崎市認知症コールセンター「サポート・ほっと」や若年性認知症グループ「どんどん」、男性介護者の集い、見守り隊等の多様なサポート活動や、劇団SOS、語り部隊、認知症キャラバン・メイトとしての講演等の啓発活動に取り組んでいる。

平成20年から川崎市認知症キャラバン・メイト連絡協議会 運営委員を務める。

### ●**対談者：根本 たつ子 氏**（川崎市認知症ネットワーク 書記）

川崎市認知症キャラバン・メイト連絡協議会 運営委員。川崎市介護相談員※。夫の両親（脳血管性認知症で5年、アルツハイマー型認知症で8年）の介護をしてきた経験から、中原区で認知症家族会「やよい会」の立ち上げより参加し、13年となる。そのほか、ミニデイサービス「ほほえみ」にも立ち上げ時より12年間関わっている。

※ **介護相談員**： 神奈川県が養成し、市町村の委嘱を受け、介護サービス提供の場へ赴いて、利用者等からの相談に応じる者。各市町村が介護施設への派遣等事業を実施している。



# かながわあんしん生活支援フォーラム in 川崎

一人でもだいじょうぶ 晴ればれ冬じたく  
～ もしもの介護もこれで安心！ ～

日時: **3月12日(月) 14:00～16:40**  
(開場 13:30)

会場: **エポック中原 大会議室**

( JR 南武線「武蔵中原駅」徒歩1分 )

定員: **先着 150 名 (当日受付)**

※定員に達した場合、ご入場いただけません  
ので、予めご了承ください。

**入場無料**

**手話通訳・要約筆記あり**

**基調講演講師**

医療福祉ジャーナリスト

**おち とよこ 氏**

## ○ プログラム ○

—14時 開演—

### 第1部【認知症について】 認知症サポーター養成講座

講師 (川崎市認知症ネットワーク  
**柿沼矩子 氏・鈴木雅子 氏** 代表・副代表)

— 休憩 —

### 第2部【基調講演】一人でもだいじょうぶ 晴ればれ冬じたく ～ もしもの介護もこれで安心！ ～

**おち とよこ 氏** (医療福祉ジャーナリスト)

### 第3部【座談会】

コーディネーター  
**阿部 充宏 氏** (神奈川県介護支援専門員協会 理事長)

対談者  
**おち とよこ 氏** (医療福祉ジャーナリスト)

対談者  
**柿沼矩子 氏・鈴木雅子 氏** (川崎市認知症ネットワーク  
代表・副代表)



※会場へは公共交通機関でお越しください

会場: **エポックなかはら**

交通: JR 南武線「武蔵中原駅」徒歩1分  
(川崎市中原区上小田中 6-22-5)



主催: 神奈川県 (平成23年度 神奈川県 認知症サポーター養成促進事業)

(平成23年度 神奈川県立 平塚ろう学校 地域活性化コミュニケーション推進事業)

共催: 川崎市

後援: 公益社団法人 認知症の人と家族の会 神奈川県支部  
特定非営利活動法人 神奈川県介護支援専門員協会  
ライオンズクラブ国際協会 330-B 地区

毎日新聞社横浜支局

協賛: エーザイ株式会社 / ファイザー株式会社

認知症サポーター100万人キャラバン



お問い合わせ:

平成23年度 神奈川県 認知症サポーター養成促進事業 運営事務局  
(株)コモンズ 21 研究所 TEL 045(752)0211 FAX 045(752)0242

● **基調講演講師：おちとよこ 氏**（医療福祉ジャーナリスト）

札幌市生まれ。横浜市在住。高齢者介護、医療、福祉など家庭や女性問題に関するテーマを中心に、雑誌、新聞、テレビなどで活躍。自身も両親を16年間介護した経験がある。国・自治体の委員も歴任。

主な著書に、『一人でもだいじょうぶ 晴ればれ冬じたく』『一人でもだいじょうぶ 親の介護から看取りまで』（日本評論社）、『入院・介護SOS』『介護保険上手に使うカシゴころ』（創元社）、『現役世代のための介護手帖』（平凡社新書）、『シングル介護』（NHK生活人新書）ほか多数。また認知症をテーマにした絵本『おばあちゃんのがしもの』（岩崎書店）など、絵本も多数執筆。新刊『私の生き方整理帖 ～もしものときの覚書付き～』を日本評論社より1月下旬に上梓。

● **コーディネーター：阿部 充宏 氏**（神奈川県介護支援専門員協会 理事長）

平成2年に社会福祉法人 泉心会 に入職。介護職、相談職、介護支援専門員、事業部長。平成18年に社会福祉法人 いきいき福祉会 事業部長 就任。平成19年に同法人の 特別養護老人ホーム ラポール藤沢 施設長に就任、社会福祉法人 いきいき福祉会 理事 に就任。

その他、主な活動として、平成21年に特定非営利活動法人 神奈川県介護支援専門員協会 理事長に就任。また、平成21年より 国際医療福祉大学非常勤講師も務めている。主たる資格は、社会福祉士・介護福祉士・介護支援専門員。神奈川県介護支援専門員協会編集による『オリジナル様式から考えるケアマネジメント実践』（中央法規出版）等の図書に、主たる執筆者として携わっている。

● **対談者：柿沼 矩子 氏**（川崎市認知症ネットワーク 代表）

昭和48年から父親の介護に関わり平成7年に看取る。現在94歳の母親を介護中。

昭和59年に聖マリアンナ医科大学病院で家族会「水曜会」、昭和63年に麻生区で家族会「はなみずきの会」を、家族仲間と立ち上げる。平成8年、認知症の人も家族も、一人の人間として、社会人として共に暮らす社会を目指し、「川崎市認知症ネットワーク」を市内全域の家族会やボランティア等市民グループとともに設立。現在、同ネットワークの活動として、川崎市認知症コールセンター「サポート・ほっと」や若年性認知症グループ「どんどん」、男性介護者の集い、見守り隊等の多様なサポート活動や、劇団SOS、語り部隊、認知症キャラバン・メイト※としての講演等の啓発活動に取り組んでいる。

平成20年から川崎市認知症キャラバン・メイト連絡協議会 運営委員長、平成22年からNPO法人 川崎市認知症ピアサポートセンター 理事長。

● **対談者：鈴木 雅子 氏**（川崎市認知症ネットワーク 副代表）

平成3年から義母の介護に関わり、平成15年に看取る。

平成6年「宮前すみれの会」に保健師のすすめで参加し、現在、同会代表を務める。

平成8年に「川崎市認知症ネットワーク」の呼びかけに賛同し、「宮前すみれの会」として参加、現副代表。

平成20年から川崎市認知症キャラバン・メイト連絡協議会 運営委員。

※ 認知症キャラバン・メイト：認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る「認知症サポーター」を養成する講師役。

